

2011 年 11 月 8 日
株式会社池田模範堂
NPO 法人イクメンクラブ

<MUHI&イクメンクラブ調べ 男性の冬の肌に関する調査>

イクメン熱の高まりで、手の荒れ(ひび・あかぎれ)に 悩む男性が急増中！

「冬にも、MUHI」を推進している株式会社池田模範堂(本社:富山県中新川郡上市町/代表取締役社長:池田嘉津弘)とNPO 法人イクメンクラブ(住所:東京都中野区/代表:長谷川潤)では、20代~40代の育児に積極的な男性(イクメン)と独身男性、それぞれ 300名、計600名に、男性の肌の手入れや悩みに関する関心などについて意識調査を実施しました。

調査の結果、イクメンの約3割が“ひび”や“あかぎれ”などの「手の荒れ」に悩んでいることが明らかになりました。イクメンの8割以上は、冬の肌の状態や肌トラブルの要因として、「室内の乾燥」や「外出時の空気」、「気温の低下」などが影響していると考えていました。

またイクメンの中でも、特に20代など若いイクメンほど、「お風呂掃除」や「食事の後片付け」など水仕事に抵抗がなく、育児に加えほぼ毎日(30分以上)家事をしているイクメンが半数を超え、毎日の水仕事や育児により、冬の季節は手荒れがひどくなるため、約半数が手荒れを気にすると回答しています。

家事・育児に積極的なイクメンは、妻の“勤労”に感謝すると回答した人が約9割を占め、勤労感謝の日には、3人に1人のイクメンが「一人で自由に使える時間を提供」してあげたい(35%)と思っているという肌寒いシーズンに心温まる結果となりました。

NPO法人イクメンクラブ代表の長谷川潤は、「イクメンは、子育てだけではなく、家事や地域活動にも積極的です。男女の役割意識が変化していくなかで、特に若いパパたちは、水仕事を当たり前のようになさっているはず。手荒れは、イクメンの勲章といってもいいのではないのでしょうか。しっかりケアするのも、時代の必然の流れなのかもしれません」と語っています。

<調査結果の概要>

○イクメンの 33.3%が手の荒れ(ひび・あかぎれ)に悩んでいる！

・・・特に 20 代では 39%、子どもの年齢3歳以下では 39.8%

○冬の肌の状態や肌トラブルの要因として、

「室内の乾燥」、「外出時の空気」、「気温の低下」を気にするイクメンは8割以上

○20代イクメンほど、水仕事に抵抗なし

・・・水仕事に対する積極度はお風呂掃除 76%、食事後片付け 69%、食事の支度 63%

○ほぼ毎日(30 分以上)、育児をしているイクメン 66%、家事をしているイクメン 47.3%

○20代イクメンほど、育児にも積極的！

・・・育児に対する積極度 お風呂 96%、食事 92%、オムツ換え 87%

○水仕事・育児で手荒れを気にするイクメン 45.7%

○イクメン 妻の“勤労”に感謝する 88.3%に

勤労感謝の日には妻に「一人で自由に使える時間を提供」してあげたいが1位(35%)

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

池田模範堂 PR 事務局 担当:高橋・松岡・野本 TEL.03-3403-0282

調査結果

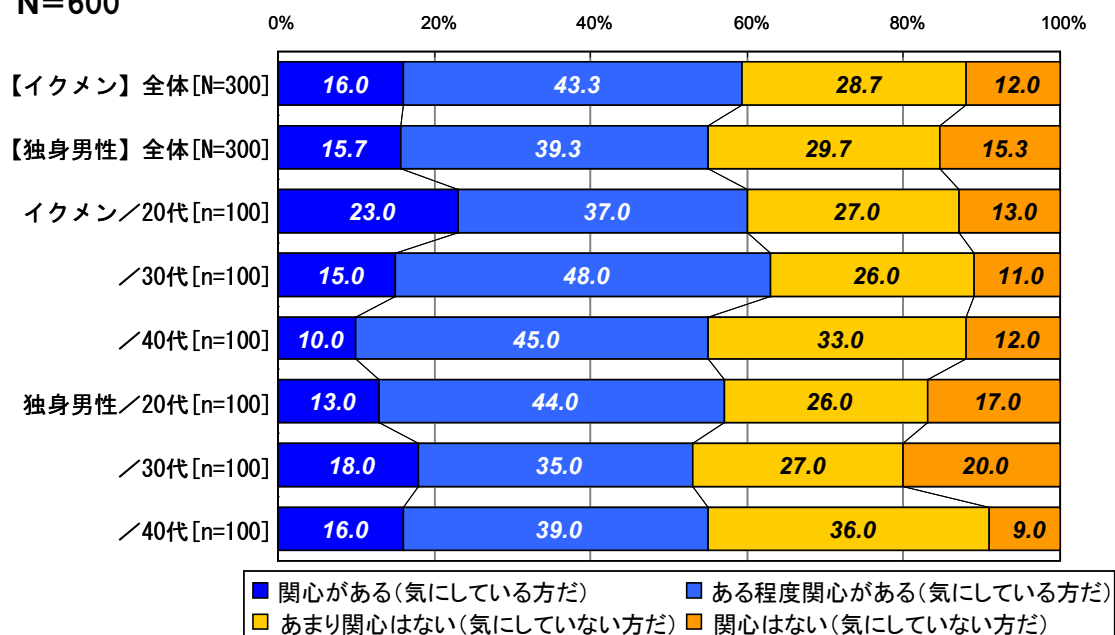
男性の肌に対する意識とケアの状況について

■ 冬の肌の手入れに対する関心度は、若いイクメンほど高い傾向

冬の間の肌の手入れについて、「関心がある」はイクメンで 59.3%、独身男性で 55.0%といずれも半数を超え、イクメンの方が関心度はやや高めの結果となりました。「関心がある」に注目すると、イクメンでは 20 代の若い層ほど関心が高い傾向にあることが分かりました。

Q1. あなたは、冬の間の肌の手入れにどの程度関心をお持ちですか。

(SA) N=600



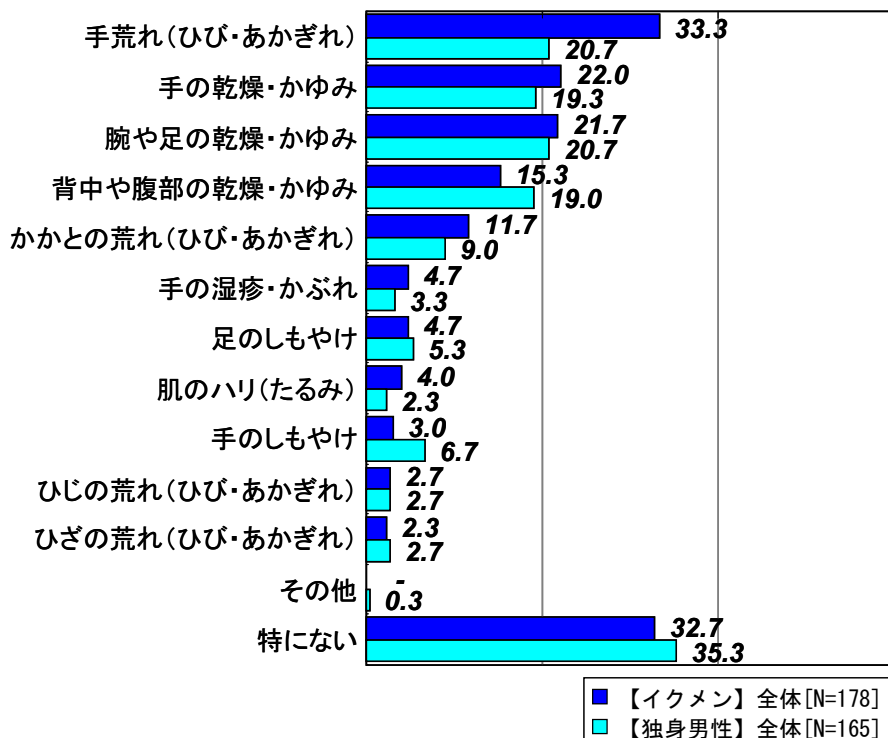
■ 冬の肌の悩みのトップは「手荒れ」

冬の肌に関する悩みについて、イクメンは「手荒れ(ひび・あかぎれ)」(33.3%)がトップで、約 3 人に 1 人が挙げており、独身男性(20.7%)を約 13 ポイント上回る結果となりました。次いで、「手の乾燥・かゆみ」(22.0%)、「腕や足の乾燥・かゆみ」(21.7%)などが続き、冬の「手荒れ」に悩むイクメンは顕著と言えそうです。

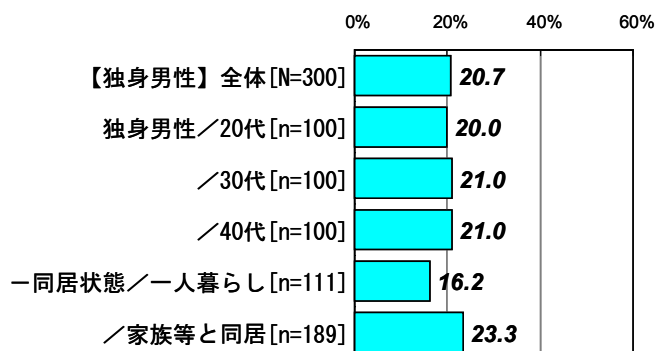
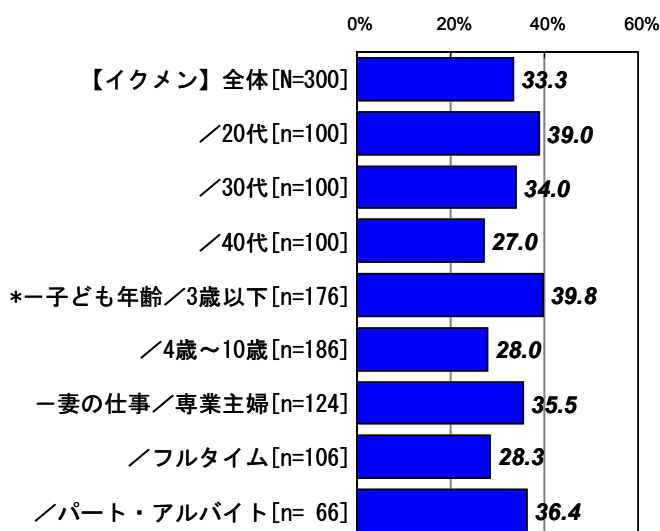
冬の「手荒れ(ひび・あかぎれ)」について属性別にみると、イクメンでは若い年代ほど気にしており、20 代では 39.0%とほぼ 4 割。子どもの年齢が 3 歳以下のイクメンでは 39.8%となりました。

Q2. これから冬を迎えますが、ご自身の肌に関して、特に冬の季節に気になる(悩む)ことは何ですか。

(MA) N=600 ※「顔」については除いてお答えください。



【属性別 手荒れ(ひび・あかぎれ)回答者】

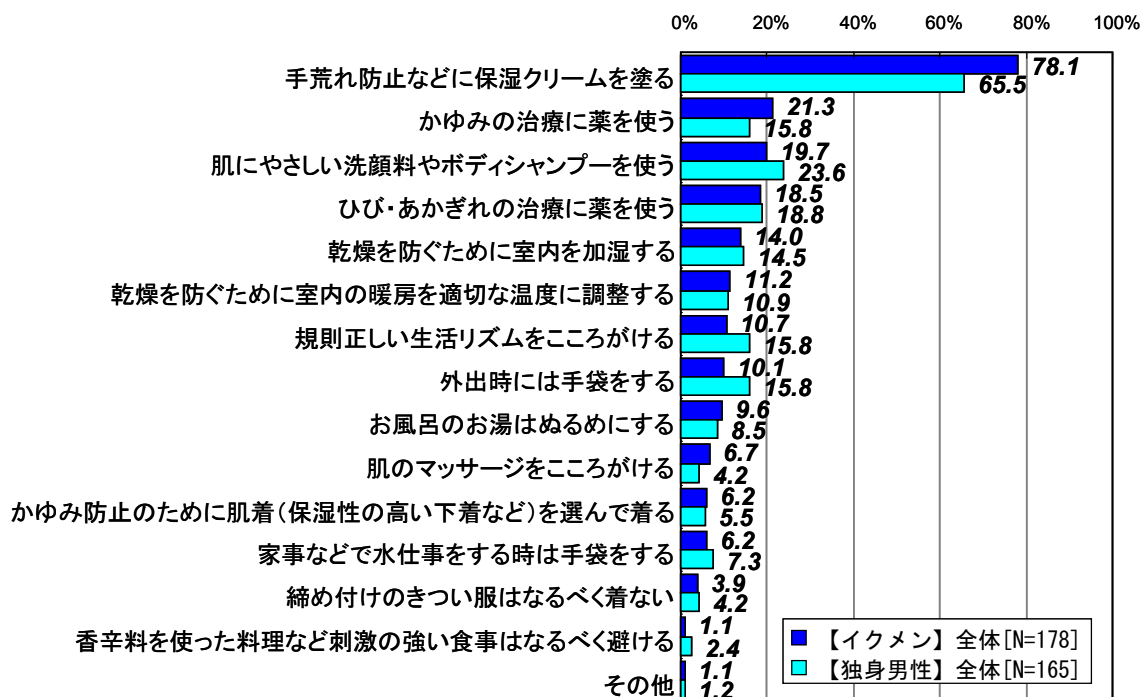


■ 冬の肌の手入れには、保湿クリームを塗るイクメンが約 8 割

冬の肌の手入れ方法として、イクメン、独身男性とも「手荒れ防止などに保湿クリームを塗る」(イクメン:78.1%、独身男性:65.5%)がトップとなり、イクメンの方がポイントでは大きく上回りました。その他、「かゆみの治療に薬を使う」(イクメン:21.3%、独身男性:15.8%)、「ひび・あかぎれの治療に薬を使う」(イクメン:18.5%、独身男性:18.8%)は、2 割前後の回答となり、「かゆみの治療に薬を使う」はイクメンの方がやや高い結果となりました。

Q3. 特に、冬の肌の手入れとして、あなたがしている、あるいはこの冬にはしたいと思うことは何ですか。

(MA) N=343 (N:Q1 で「関心がある」、「ある程度関心がある」と回答)

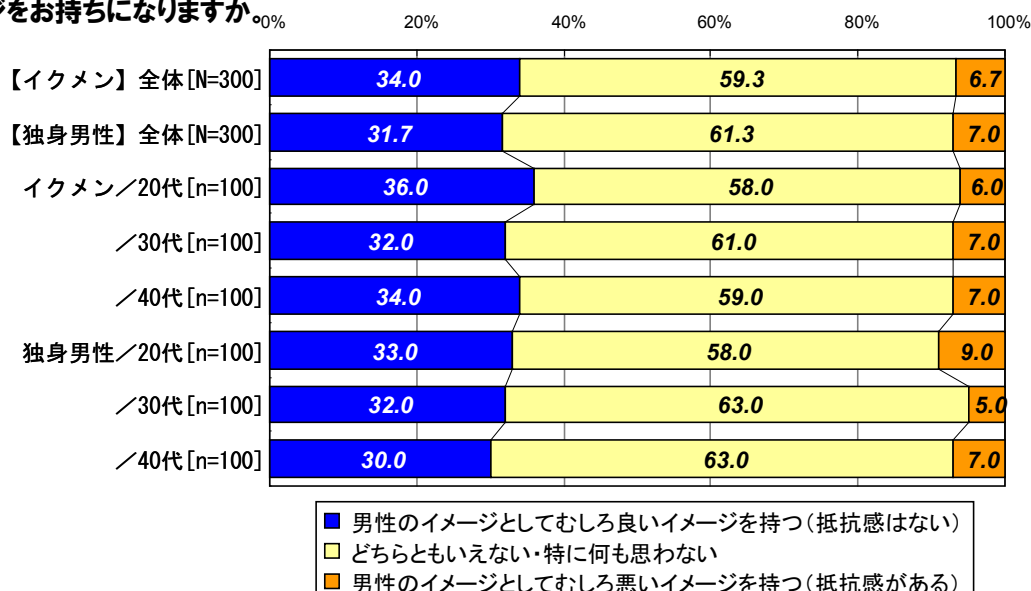


■ 約 3 割の男性が、肌の手入れに熱心であることに良いイメージ

男性が肌の状態やトラブルについて気にしたり、肌の手入れに熱心であることについて、「男性のイメージとしてむしろ良いイメージを持つ(抵抗感はない)」は、イクメンで 34.0%、独身男性で 31.7%とほぼ同じ傾向にあり、また両者とも「どちらともいえない・特に何も思わない」が 6 割前後で最も多いなど、イメージ評価の傾向は同じという結果になりました。

Q4. あなたは、男性が肌の状態やトラブルについて気にしたり、肌の手入れに熱心であることについて、どのようなイメージをお持ちになりますか。

(SA) N=600



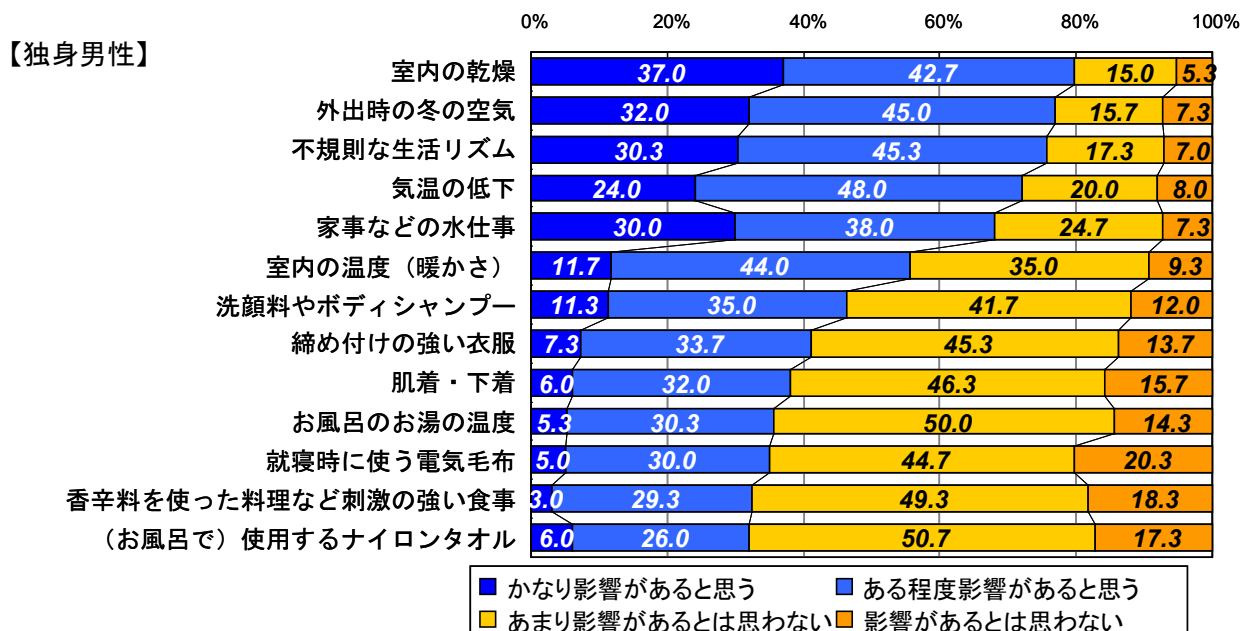
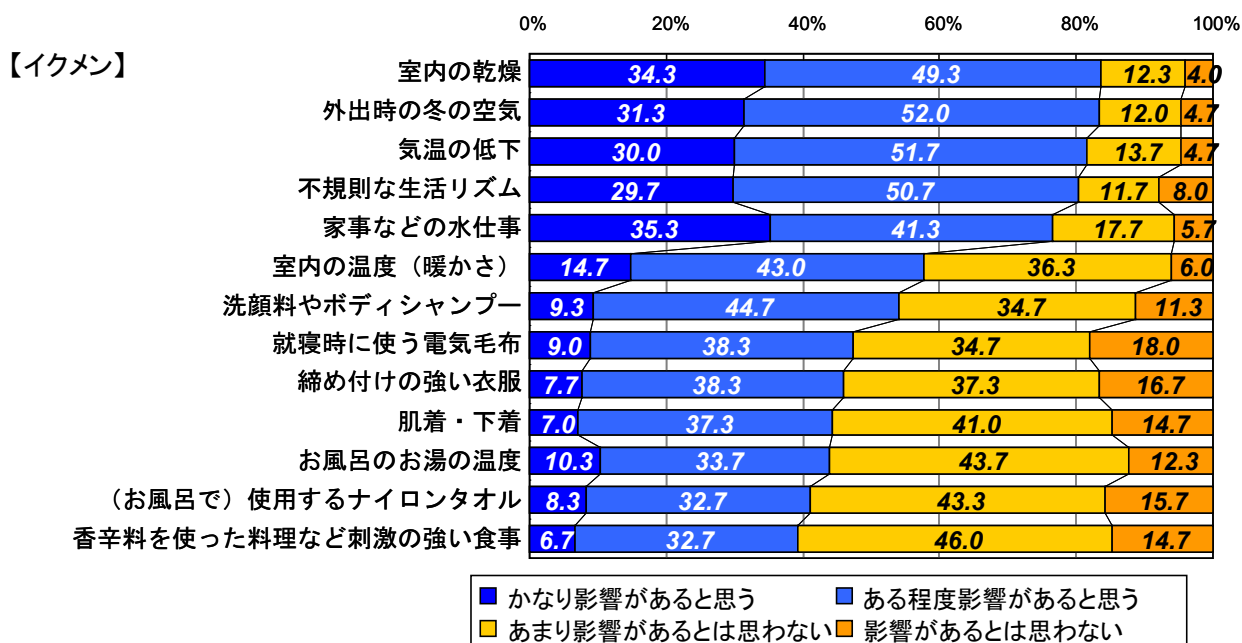
■ 冬の肌の状態やトラブルに影響を与える要因は「室内の乾燥」

冬の肌の状態やトラブルに影響を与える要因として、イクメン・独身男性ともに上位は8割前後で「室内の乾燥」が1位となり、次いで「外出時の冬の空気」、「気温の低下」、「不規則な生活リズム」の順となりました。ただし、全体的にイクメンの方がポイントが高く、より「影響を与える」と意識している傾向が強いことが分かりました。特に、イクメンは「気温の低下」や「家事などの水仕事」、さらに「洗顔料やボディシャンプー」、「就寝時に使う電気毛布」、「お風呂のお湯の温度」や「使用するナイロンタオル」など、幅広い生活条件の影響にも、関心を寄せているようです。

イクメンでは「影響があると思う」の回答率は、「室内の乾燥」(83.7%)、「外出時の冬の空気」(83.3%)、「気温の低下」(81.7%)、「不規則な生活リズム」(80.3%)までが8割台と高い割合で、「家事などの水仕事」(76.7%)、「室内の温度(暖かさ)」(57.7%)、「洗顔料やボディシャンプー」(54.0%)も半数超の人が挙げています。

独身男性では「影響があると思う」の回答率は、「室内の乾燥」(79.7%)、「外出時の冬の空気」(77.0%)、「不規則な生活リズム」(75.7%)、「気温の低下」(72.0%)までが7割台となり、「家事などの水仕事」(68.0%)、「室内の温度(暖かさ)」(55.7%)と続いています。

Q5. あなたは、以下のような事柄が、どの程度冬の肌の状態やトラブルに影響を与える要因であると、お考えですか。(各 SA) N=600



男性の家事の参加状況および姿勢について

■ ほぼ毎日(30分以上)、家事をしているイクメン 47.3%

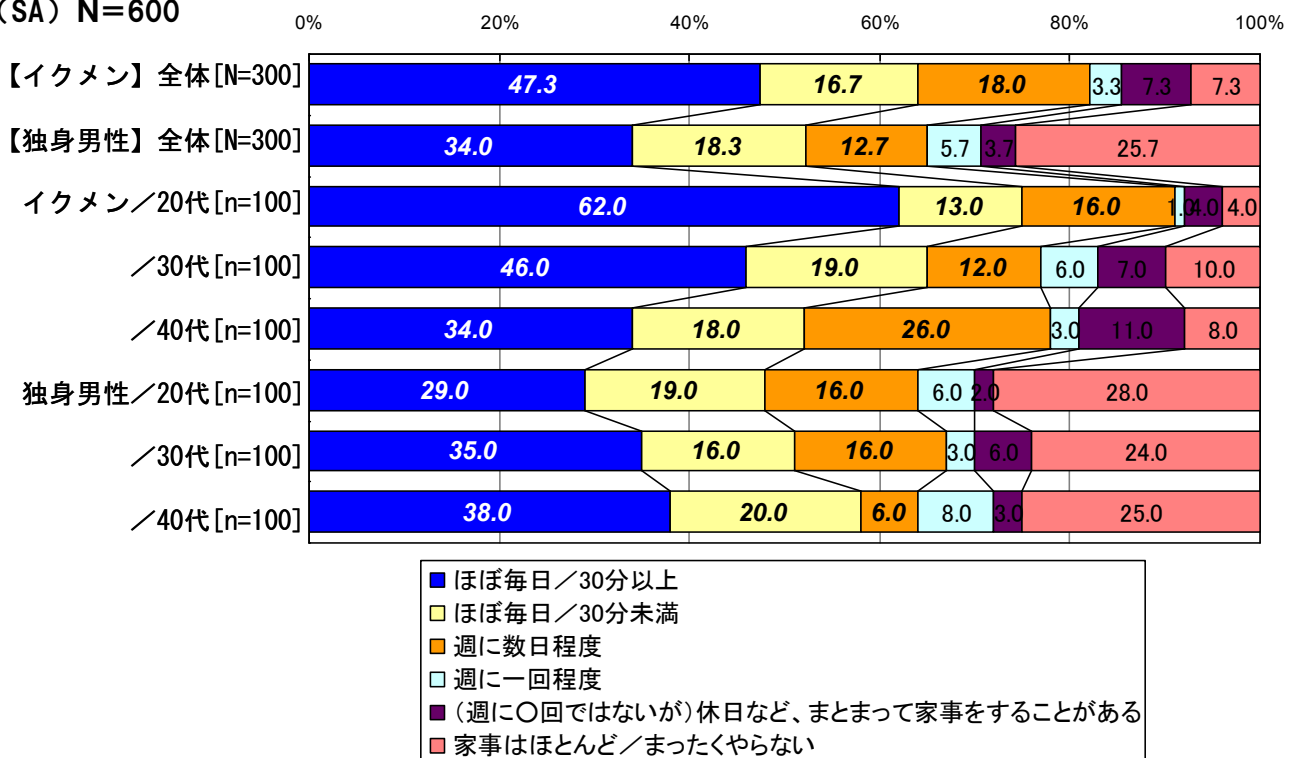
ふだんの家庭での家事について、家事時間は、独身男性よりもイクメンの方が長いことが分かりました。最も熱心な「ほぼ毎日／30分以上」は、イクメンが 47.3%と半数近くを占めるのに対し、独身男性では 34.0%となり、イクメンが約 13 ポイントも上回る結果となりました。逆に、「家事はほとんど／まったくやらない」は、独身男性では 25.7%と 4 人に一人となった一方、イクメンではわずか 7.3%でした。

世代別に見ると、イクメンは 20 代で特に家事時間が長く、「ほぼ毎日／30分以上」が 62.0%と6割を超えます。妻がフルタイム、子どもが3歳以下のイクメンでも家事時間が多い傾向にあります。

家族等と同居の独身男性では、「ほとんど／まったくやらない」が 36.0%と、イクメン(7.3%)、一人暮らしの独身男性(8.1%)に比べて圧倒的に多い結果となりました。

Q6. あなたは、ふだんご家庭でどの程度家事(育児を除く)をしていますか。

(SA) N=600



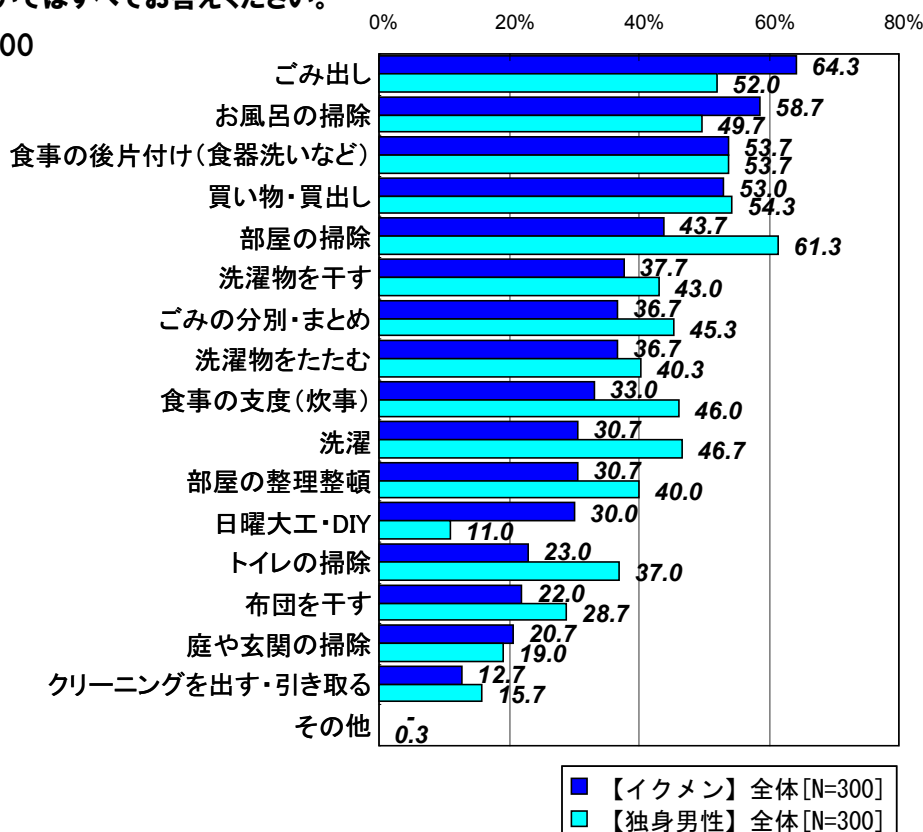
■ ふだんの家事手伝い 1 位は「ごみ出し」

ふだん家庭でしている家事について、イクメンの上位は、「ごみ出し」(64.3%)、「お風呂の掃除」(58.7%)、「食事の後片付け(食器洗いなど)」(53.7%)、「買い物・買出し」(53.0%)の順となる一方、独身男性では「部屋の掃除」(61.3%)、「買い物・買出し」(54.3%)、「食事の後片付け(食器洗いなど)」(53.7%)、「ごみ出し」(52.0%)という結果となりました。

Q7. あなたが、ふだんご家庭でしている家事(育児を除く)は何ですか。毎回などの回数は問わずしている

家事についてはすべてお答えください。

(MA) N=600



■ 20 代イクメンほど、水仕事に抵抗なし

家事の中でも特に水仕事に対しての積極性を聞いたところ、「お風呂の掃除」(64.7%)、「食事の後片付け」(60.7%)はイクメンで 6 割以上が“積極的”と回答するなど、全体として独身男性よりイクメンの方が家事(水仕事)にかなり積極的という傾向が分かりました。

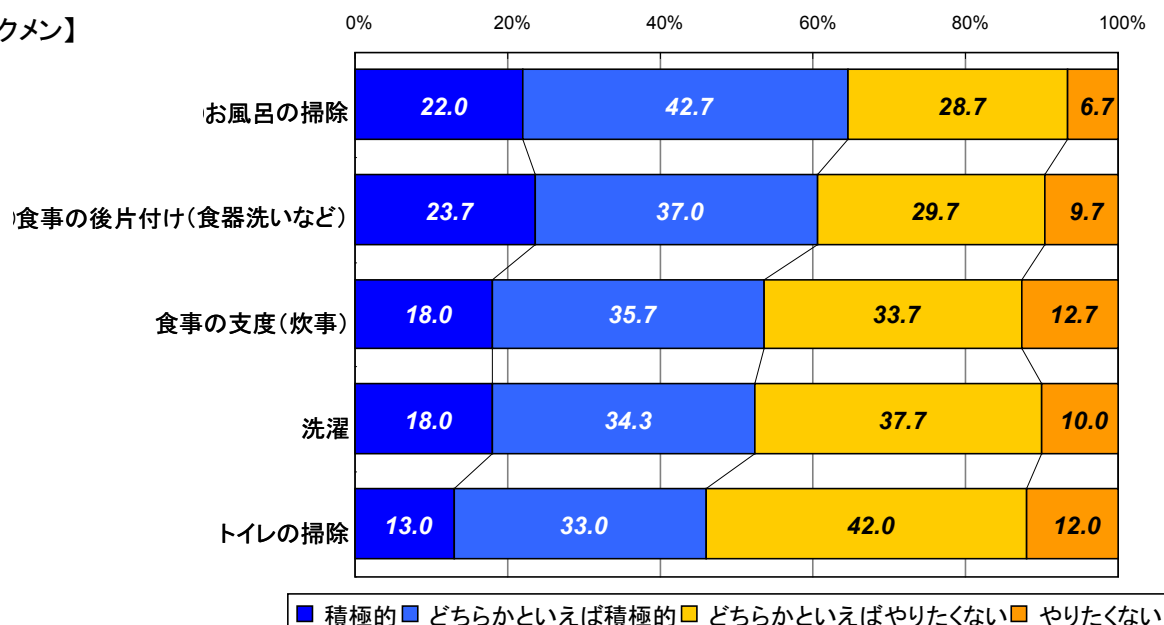
特に、イクメンの中でも、20 代のイクメンでは家事(水仕事)にかなり積極的な一方、独身男性では 30 代で最も積極的な、40 代で消極的な傾向となりました。

「お風呂の掃除」、「トイレ掃除」は、3 歳以下の子どもがいるイクメンで、「食事の後片付け」は妻がフルタイムのイクメンで、それぞれ比較的高く、家族等と同居の独身男性は、イクメンや一人暮らしの独身男性に比べて、家事(水仕事)にかなり消極的であることも分かりました。

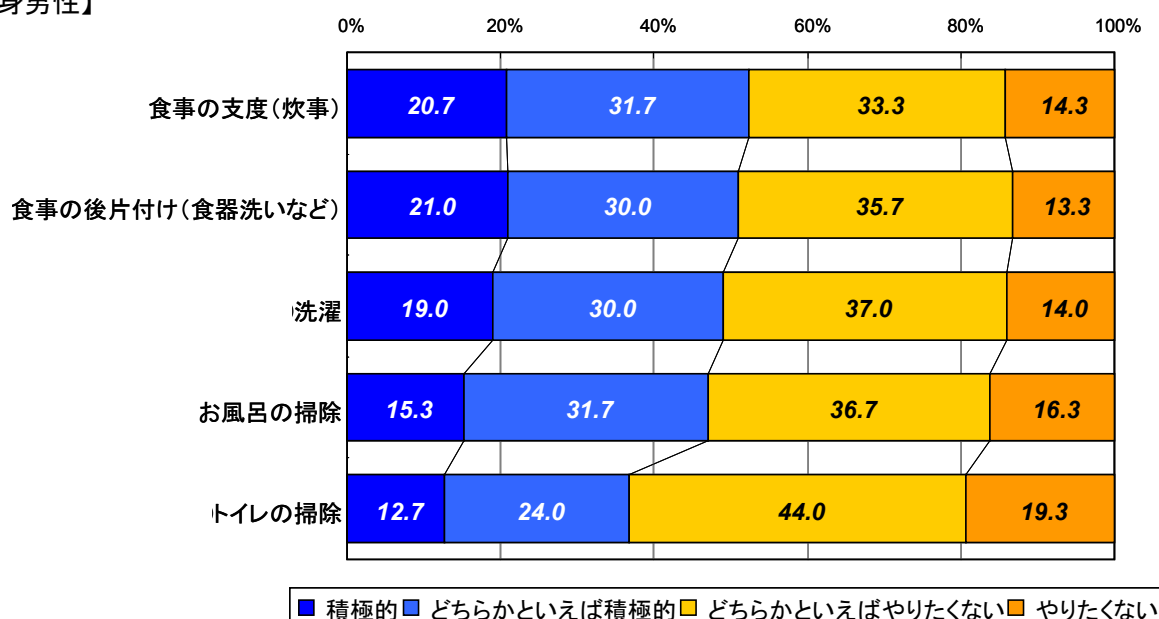
Q8. あなたは、以下のような家事(水仕事)をすることについて、どの程度積極的ですか。以下のそれぞれについてお答えください。

(各 SA) N=600

【イクメン】



【独身男性】



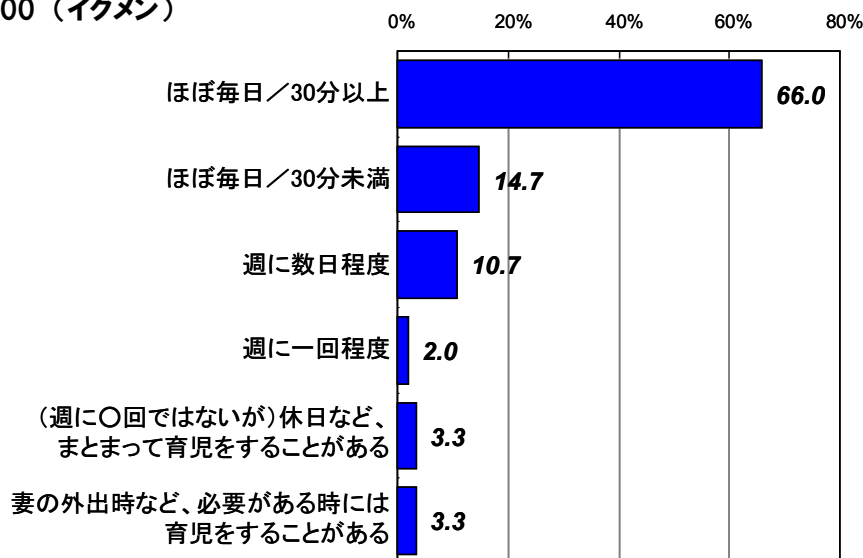
イクメンの育児の参加状況および姿勢について

■ ほぼ毎日(30分以上)、育児をしているイクメンは66.0%

イクメンの育児時間は、最も熱心な「ほぼ毎日／30分以上」が66.0%を占め、「ほぼ毎日」育児をしているイクメンは全体で80.7%となりました。特に、20代のイクメンは、「ほぼ毎日／30分以上」が78.0%と約8割になり、3歳以下の子どもがいるイクメンでも、「ほぼ毎日／30分以上」は77.3%という結果となりました。

Q9. あなたは、ふだんご家庭でどの程度育児をしていますか。

(SA) N=300 (イクメン)

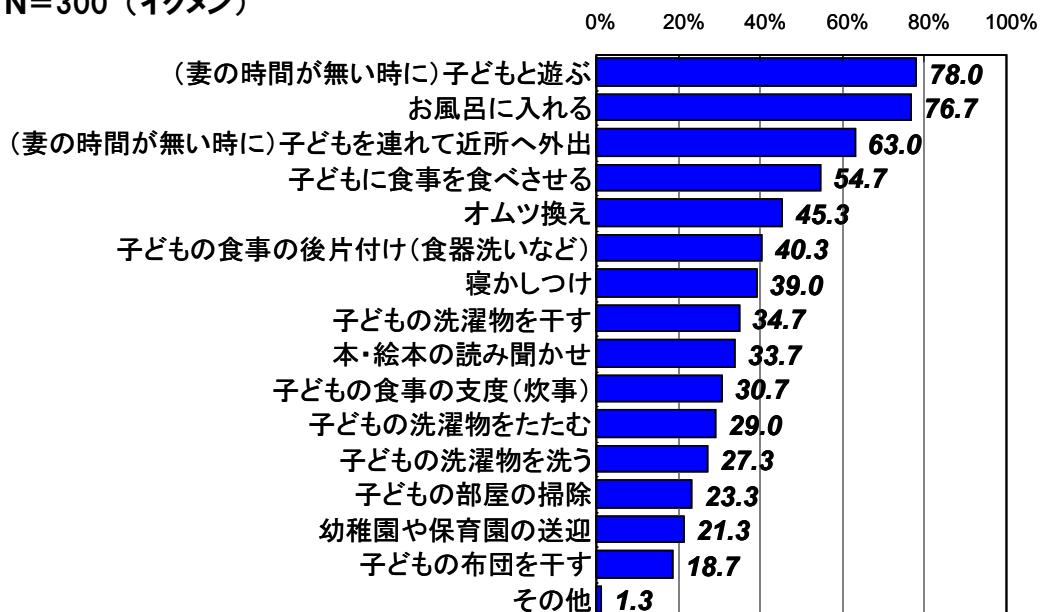


■ ふだんしている育児の1位は、妻の時間がない時に子どもと遊ぶ

ふだん家庭でしている育児について、「(妻の時間がない時に)子どもと遊ぶ」(78.0%)、「お風呂に入れる」(76.7%)が8割弱と上位になりました。特に、20代のイクメンは、30代以上に比べて、育児全般への関わりが強い傾向であることが分かりました。

Q10. あなたが、ふだんご家庭でしている育児は何ですか(毎回などの回数は問わず、している育児についてはすべてお答えください)。

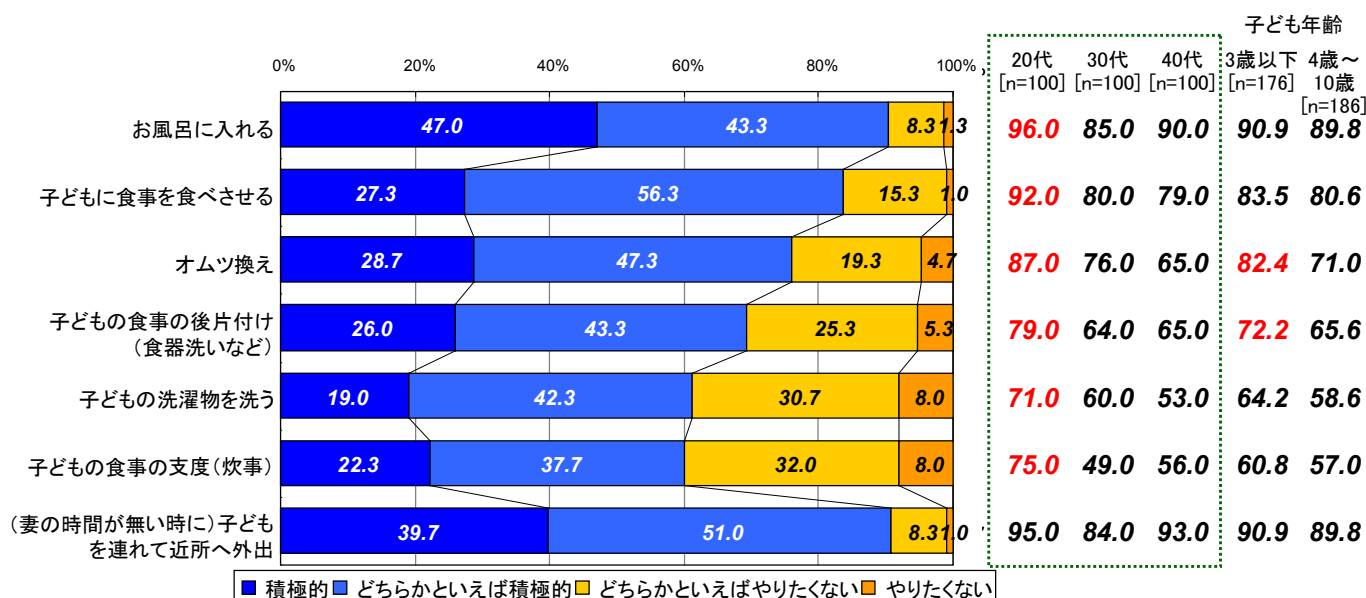
(MA) N=300 (イクメン)



■ 水を扱う育児をイクメンの 6 割以上が積極的に実施

育児への積極性を聞いたところ、「お風呂に入れる」(90.3%)を筆頭に、「オムツ換え」(76.0%)や「洗濯」(61.3%)、「炊事」(60.0%)など、水を扱う育児をイクメンの 6 割以上が積極的にしている結果となりました。特に、20 代のイクメンは、より積極的な傾向で、いずれも 75%以上という結果になりました。

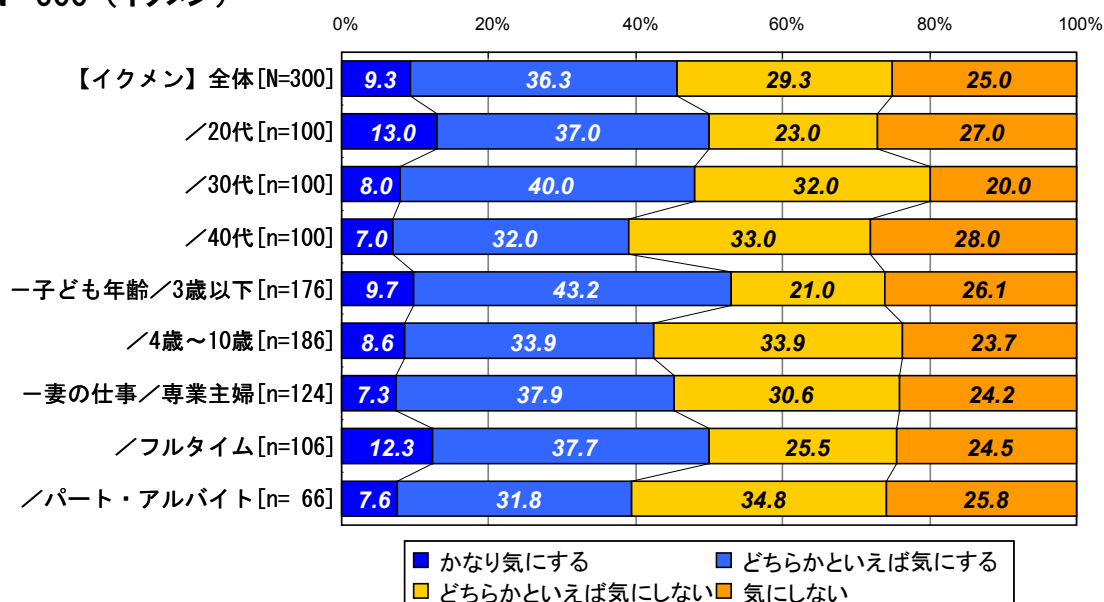
Q11. あなたは、以下のような育児をすることについて、どの程度積極的ですか。以下のそれぞれについてお答えください。(すでにお子さんが大きくなって、現在はしていない育児については以前の状況を思い出してお答えください)。(SA) N=300 (イクメン)



■ 水を扱う家事・育児の際、手荒れを気にするイクメンは 45.7%

水仕事や育児をする際、手荒れの気になり具合を聞いたところ、「かなり気にする」と「どちらかといえば気にする」という回答を合わせると、「気にする」と応えたイクメンは 45.7%と、半数近い人が気になると回答しました。40 代に比べ、20~30 代の若いイクメンほど、手荒れが気になる傾向にあり、3 歳以下の子どもがいるイクメンでは、気になる人が 52.8%にのぼることも分かりました。

Q12. あなたは、水を扱う家事や育児をする時、手荒れをどの程度気にしていますか。
(SA) N=300 (イクメン)



イクメンの妻への感謝について

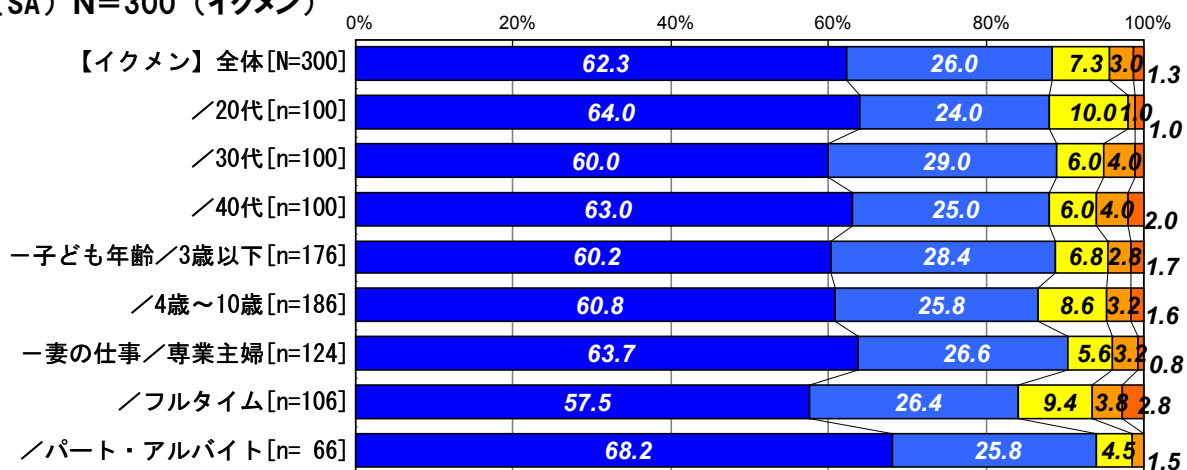
■ イクメン 妻の“勤労”に感謝する 88.3%に

イクメンでは、妻の家事・育児に「大変感謝している」(62.3%)、「ある程度感謝している」(26.0%)と、「感謝している」人が 88.3%と高く、妻の“ありがたみ”がわかっているイクメンはほぼ 9 割に達することが分かりました。

Q13. あなたは、妻のふだんの家事・育児について、どの程度評価していますか。

“感謝”の程度としてその気持ちを表した場合、最もあてはまるものをお選びください。

(SA) N=300 (イクメン)



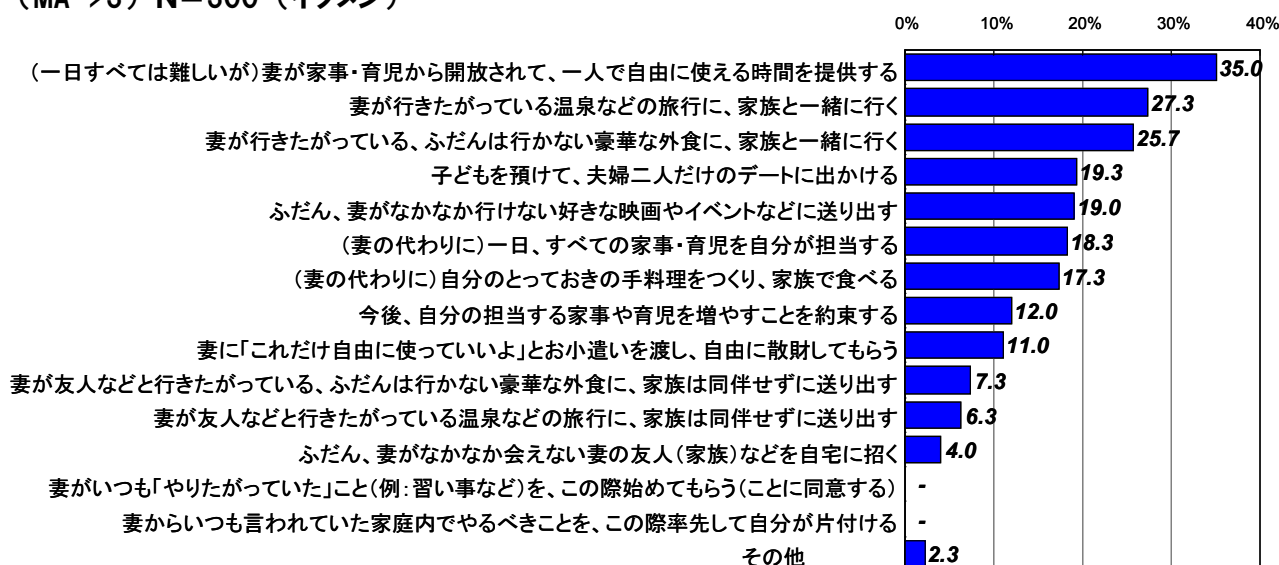
■ 大変感謝している ■ ある程度感謝している
■ (評価はするが)あたたまって感謝するほどではない
■ あまり評価しないし、感謝するほどではない ■ ほとんど評価しないし、感謝もしない

■ イクメン 勤労感謝の日には妻に「一人で自由に使える時間を提供」してあげたいが1位

勤労感謝の日には妻にしてあげたいことのトップは、「一人で自由に使える時間を提供」(35.0%)、次いで「温泉などの旅行に、家族と一緒に」(27.3%)、「豪華な外食に、家族と一緒に」(25.7%)と、家族で妻をもてなしたいとの意向が強いことが分かりました。また、「夫婦二人だけのデートに」は20代、「自分のとっておきの手料理をつくり、家族で食べる」は妻がパート・アルバイトのイクメンで、全体平均より高い傾向にあります。

Q14. 11月23日は『勤労感謝の日』ですが、この日、あなたが妻に日頃の感謝の意味を込めて、もし、モノではない(機会や体験を)プレゼントをするとしたら、どんな贈り物をしたいですか。以下の中から、あなたのお考えに近いことを3つまであげてください。(実際に行くかどうかは気にせず、仮定の贈り物としてお答えくださって結構です)。

(MA→3) N=300 (イクメン)



<調査概要>

調査テーマ: 男性の冬の肌に関する調査
 調査会社: 株式会社マーシュ
 調査対象: 20代～40代男性で、育児に積極的な男性(イクメン)および独身男性
 調査地域: 全国
 有効回答数: 600人
 調査方法: インターネットによるアンケート調査
 調査期間: 2011年10月15日～17日